

本日、国際連合工業開発機関と水銀含有廃棄物に関するプロジェクト展開及び途上国への技術支援に関して覚書（MOU）の調印ができたことを、野村興産を代表して非常に喜ばしく思っています。

野村興産は、水銀含有廃棄物から水銀を抽出する日本唯一の会社であり、40年にわたりこの技術を磨いてきました。野村興産の前身である野村鋳業株式会社は東洋一の水銀生産を誇っていました。水銀の関心が高まるにつれ、国内の水銀需要が低迷シトムカ鋳業所は閉山しました。

1973年に野村鋳業株式会社で培われた水銀製錬技術や知識を生かし、新たに水銀含有廃棄物処理会社として野村興産はスタートしました。この施設が現在のイトムカ鋳業所があります。以降弊社は、新たな事業展開を進め、日本全国の水銀含有廃棄物の回収、処理、再資源化を行っています。

また、弊社は1986年から全国都市清掃会議(Japan Waste Management Association)の認定業者として、日本全国各地から使用済の電池・蛍光灯を収集し、処理、リサイクル（再資源化）を行っています。野村興産が処理する水銀含有廃棄物は、乾電池、蛍光灯、体温計、血圧計などばかりではなく、非鉄製錬業を始めとする全ての産業から排出される水銀含有廃棄物にわたっています。

水銀は化学元素であり破壊する事は出来ません、水銀に関する水俣条約が批准された後には水銀及び水銀廃棄物を安全に保管する必要があります。弊社は電池・蛍光灯だけではなく様々な水銀含有廃棄物の処理、リサイクル（再資源化）を行っており、金属水銀の安定保管に関しても、硫化水銀にして保管する事について研究を進めており、実用化の段階にきています。

今回覚書を締結した事により、UNIDOと協調して水銀含有廃棄物の処理・リサイクルのアジアの拠点になることを目指します。また、この協力により、私達はリサイクルシステムに関する技術を途上国に広める準備が出来ています。

最後に、MOUの締結に向けて協力して頂いた皆様に感謝致します。私達はこれからUNIDOとパートナーシップを構築し、相互共通のゴールである水銀含有廃棄物の環境汚染防止及び水銀保管に関する長期的な解決策を見極める事に取り組みます。

今日この調印式にお招き頂きありがとうございます。